

「インターKX顧問先情報」 様式変更対応版 概要 (Ver.3.1)

「インターKX顧問先情報 Ver.3.1」での対応内容についてご案内します。

1. データの利用について

データ移行対象バージョン・・・Ver.3.0以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

旧バージョンプログラム及びデータとの共存はできません。

セットアップCD-ROMには、官公庁データ（2009年2月1日現在）が収録されています。

※2008年9月末でサポート終了機種（FT710*/MT310*）については、バージョンアップの対象外となりますのでご注意ください。

概要のバージョンの表記について

「Ver.3.1」のように小数点以下2桁目は省略して記載しています。正確なバージョンはシステム起動後の【ヘルプ】 - 【バージョン情報】で確認できます。

2. システムの対応内容

東京国税局用および仙台湾税局用の関与先名簿、従業員名簿の様式変更に対応しました。

1. 関与先名簿の様式変更

- 東京国税局用
 - 「関与先件数」欄を追加し、明細行を10行→9行（2ページ目以降：14行→15行）に変更しました。
- 仙台湾税局用
 - ・「税理士の関与先及び職員の報告書」の新規追加
仙台湾税局用の関与先名簿は、現行の「税理士法人の関与先及び職員の報告書」と2種類の出力様式に対応しています。
 - ・「税理士法人の関与先及び職員の報告書」の項目名の変更
 - ・表紙の項目名の変更（「社員・補助の区分」→「備考」）
 - ・項目名の変更（「税理士等氏名」→「税理士名 税理士法人名」）

2. 職員名簿の様式変更

- 東京国税局用
 - 「従業員件数」欄を追加し、明細行を10行→9行（2ページ目以降：14行→15行）に変更しました。
- 仙台湾税局用
 - 「関与先件数」欄の追加、明細行を10行→9行（2ページ目以降：14行→15行）に変更し、「税理士等氏名」→「税理士名 税理士法人名」に項目名を変更しました。

3. プログラムのセットアップ先指定の制限

セットアップにおいて、プログラムのセットアップ先フォルダ指定画面でネットワークドライブやリムーバブルディスクを指定できないように対応しました。

4. セットアップでの変更点

セットアップ時に自動で設定されるスタートメニューの登録を階層化し、アプリケーションを探しやすくしました。

5. バックアップ・リストアでの変更点

- バックアップ形式の初期値を圧縮バックアップに変更しました。
- バックアップ・リストア画面から新規フォルダが作成できるように対応しました。

3. データの互換性

応援シリーズのスタンドアロン版との双互換はありません。

インターKX版の「新しいデータへの変換」機能を使用してスタンドアロン版データ（Ver.2.0以降）をインターKXへ移行することは可能です。（このとき、データ変換を行うクライアントPCにスタンドアロン版の顧問先情報プログラム、およびデータが登録されている必要があります）

同一バージョンであれば、応援ネットワーク版データとバックアップ・リストアでの移行は可能です。

最新官公庁データの提供

セットアップCD-ROMに収録されている、官公庁データ（税務署、都道府県税事務所、市区町村役場）を最新版（2009年2月1日現在）に更新します。最新官公庁データへの更新は必須作業ではありません。